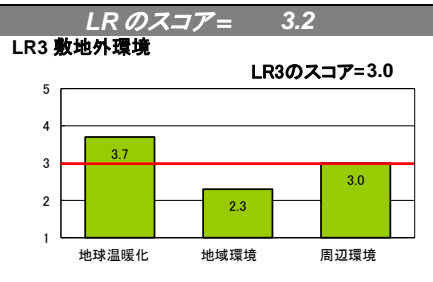
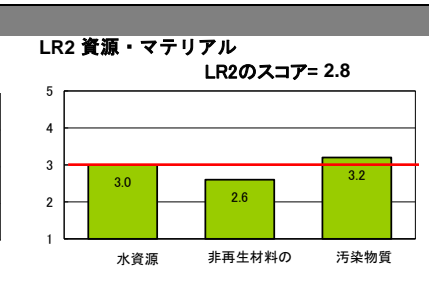
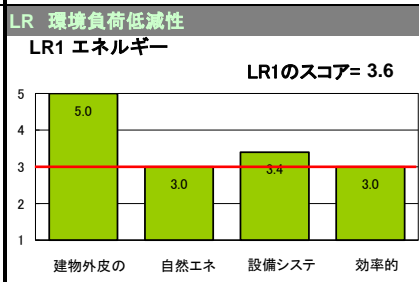
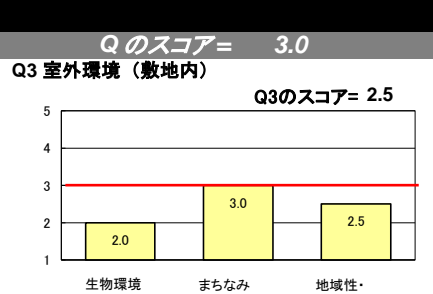
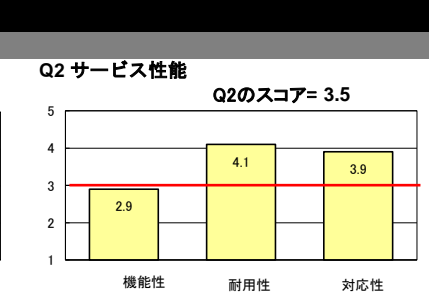
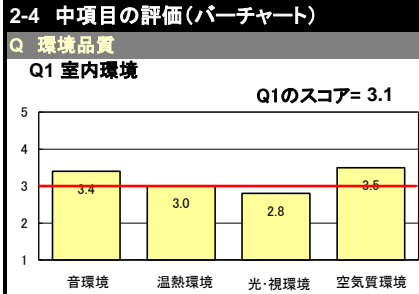
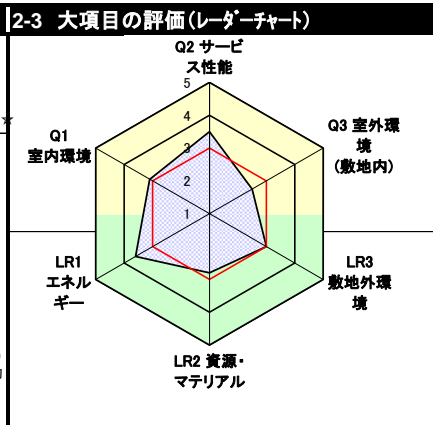
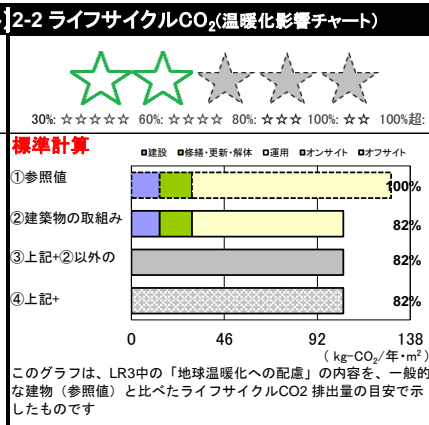
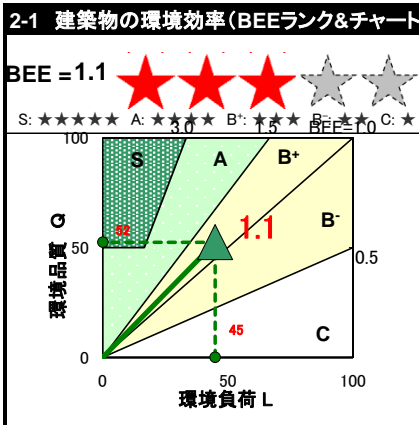


1-1 建物概要

建物名称	(仮称)相模原市中央区宮下一丁目224番326建物新築工事
建設地	相模原市中央区宮下一丁目224番326
用途地域	工業専用地域、防火指定なし
地域区分	6地域
建物用途	事務所
竣工年	2021年12月 予定
敷地面積	29,120 m ²
建築面積	7,321 m ²
延床面積	28,079 m ²

階数	地上4階
構造	S造
平均居住人員	50人
年間使用時間	0時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年5月15日
作成者	(株)日本設計
確認日	2020年5月18日
確認者	(株)日本設計



3 設計上の配慮事項

総合 JR相模原駅から徒歩20分の工業専用地域で、JR横浜線に近接しているデータセンター(事務所用途)を計画した。	その他 0	
Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 建物全体で免振装置を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー BPIm:0.5	LR2 資源・マテリアル コンクリート及び鉄筋:Fc=36以上、かつF=390以上、鉄骨:F=325以上355未満。冷間成形角形鋼管におけるBCPを採用。	LR3 敷地外環境 0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される